

道路ユーザーネットワーク広場

NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK



Photo by Fields

「美ヶ原」の和田宿で素麺を舌鼓。エイドで食べたのは、おやき、冷やし味噌汁、お汁粉、どら焼き、牛乳。



Photo by Fields

貴重な自然環境を守るため、「歩行区間」となった茶臼山。美ヶ原。霧雨と風で低体温症も出たが、気持ちよかった！

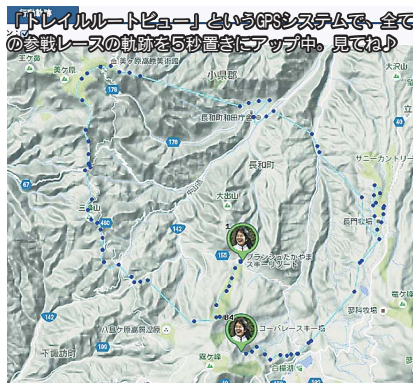
交通安全に関わって30年ほどになるでしょうか。雑誌取材に明け暮れたバイクジャーナリスト時代から頻りに関連イベントに呼ばれ、安全運転教室の実技講師も長く勤めました。国内外の道を100万キロ走った経験を活かすべく、免許証のIC化、自動車アセスメント、ITS（高度道路交通システム）などの検討委員会から今も各団体の評議委員を務め、また内閣府の中央交通安全対策会議の専門委員として、交通安全白書作成に向かう日々です。審査のお手伝いした「道路ふれあい月間」の推進標語もそろそろお目見えするはず。「いい出会い、いい道からの贈り物（友人久健さん）」は、一般の部の最優秀賞の作品です。

「次は真面目に交通安全のことを書きますね」と担当者や打ち合わせしていたのですが、止まりました。実は一昨日、白バイにスピード違反で捕まりました。地元四賀の某所（カフェからほんの3分）で毎日のように取り締まられているのを知っており、その場所選ぴと隠れ方は、いつも腑に落ちなかったのですが、まさか自分が捕まるのは。節約しめる生活の中で一万五千円には愕然としたけれど、こんなに模範運転者の私をなぜ？ ま、確かに20キロオーバーしていたけれど、飲酒でも、乱暴でもない小市民をなぜ？ 明るく非の打ち所のない態度で言葉がまた憎らしい。もっと危ない箇所はあるし、事故が起きない様に注意喚



三好礼子
エッセイスト・国際ラリースト
～http://www.fairytale.jp/～

★三好礼子の★
ナチュラル・ロード



「トレイルルートビュー」というGPSシステムで、全ての参加レースの軌跡を5秒置きにアップ中。見てね！



18時間走り抜いた最終ランナーを出迎えた「スパトレイル」。感動でどろもどろ泣いてしまう。女子完走率は6割。

杯。でも、「これが事故でなくてよかったね」「白バイに気がつかないというところは、きつとほっとしてたんだね」などとも思いたくないので、気分を変えて、通勤の人だけでなく、捕まった前日のトレランで、年代別で2位に入って表彰状を戴きました！パンジー！この1ヶ月は、「菅平スカイトレラン42キロ」、「スパトレイル（四万七〇草津）72キロ」「美ヶ原トレイルレース80キロ」とロングが目白押しでしたが、すべて奇跡の完走を果たし、それぞれが苦しくも楽しく、大きな収穫がありました。どの山もの集落も道も趣の異なる表情を持ち、飽きる事はありません。「わー、こんな美しいところあったんだ！」と叫び、そのルート上で選手やボランティアや町の人と交流し、しかも初めてであつても同じ志を持つ仲間と声掛けしながらペースを保てました。清流・森林・里山、日本の美しい自然を満喫しながらのラン＆ウォーク。しかも初めてであつても同じ志を持つ仲間と声掛けしながらペースを保てました。清流・森林・里山、日本の美しい自然を満喫

「アイガーウルトラトレイル100キロ」に臨みますが、少しでも気持ちが落ち着きました。「前を見てあなたの道は、この先に（森谷友理さん）。でも今は、「もういいかい、指差し確認、まあだだよ（荒川まなさん）」の方が私には必要かも？ さあ、罰金払って再スタートだ！

ふだん何気なく歩いている道路、その生い立ちも色々です。整備された幹線道路、区画整理で新しくできた道路、古道や旧街道…。そして使われなくなった道路もあります。身近な道路の生い立ちをいくつか探ってみました。

七月は、皆さんで存じの「博多祇園山笠」です。今から三十五・六年ほど前、博多の山笠の追い山コース沿いに住んでいた事がありません。当時、「担ぎ手が不足している」と「最近の若いもんはチカラがな」といなど、二週間前から飲みながら愚痴る祭りの顔役さん方もいました。山笠には足が四本ついています。その足の先には鉄製のゲタの様なものが取り付けられていますが、ベテラン達はそのゲタを指さして「俺達も大切な事です。また、新

ハット
思いました
「博多祇園山笠」です。今から三十五・六年ほど前、博多の山笠の追い山コース沿いに住んでいた事がありません。当時、「担ぎ手が不足している」と「最近の若いもんはチカラがな」といなど、二週間前から飲みながら愚痴る祭りの顔役さん方もいました。山笠には足が四本ついています。その足の先には鉄製のゲタの様なものが取り付けられていますが、ベテラン達はそのゲタを指さして「俺達も大切な事です。また、新



井の頭通り・吉祥寺付近の現在（上）と昭和47年頃（下、真ん中あたり）：よくみると「東横線」と書かれています。（出典：国土地理院「ベース」(上)、国土院「昭和47年」(下)）

都道7号と都道428号、通称「井の頭通り」として知られるこの道路、例えば、吉祥寺あたりを見てみると、確かにまっすぐ走り（図上の中ほど、北東から南西に至る）、周りの道路と斜めに交差している部分もあります。このあたりは、昔の地図を見ても、昭和7年、この頃すでに北に平行する（旧街道の）五日市街道は確認できますが、井の頭通りは点線、その郊外には町村営や民間企業によって水道が整備されていました。当時、郊外の市街化は現在ほどに進んでいませんでした。技術的にも合理的ということで、水道管はまっすぐに敷設されたということでしょう。その後、市街化が進む中でこれらの水道管は道路として供用されるようになります。井の頭通りもその例で、大正13年に浄水場（武蔵野市）から和田堀給水所（世田谷区松



現地は混んでいて見えないので…

「自業自得」と言う言葉を胸の内にしっかりと刻み込めようか？

例えは、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けての街並みの整備、施設の整備や、東日本大震災被災地の復興、自然災害による被災地の再建などにあたっては、利便とかエコとか、否定しにくい言葉は武器として全面にだすに使うと言った「こころ」は特級品である、いや、ありがたいと思っています。エコや環境、自然とは一体何なのでしょうかね？

線、よく見ると「東京水道」と書かれています。この頃、井の頭通りはまだ水道管だったのです。東京ではなぜ山手線の外に水道道路が多いのでしょうか。それは水道整備の経緯と関係がありそうです。東京の近代水道網は、明治30年代半ばには東京市内（旧15区）を網羅していましたが、その郊外には町村営や民間企業によって水道が整備されていました。当時、郊外の市街化は現在ほどに進んでいませんでした。技術的にも合理的ということで、水道管はまっすぐに敷設されたということでしょう。その後、市街化が進む中でこれらの水道管は道路として供用されるようになります。井の頭通りもその例で、大正13年に浄水場（武蔵野市）から和田堀給水所（世田谷区松

都道7号と都道428号、通称「井の頭通り」として知られるこの道路、例えば、吉祥寺あたりを見てみると、確かにまっすぐ走り（図上の中ほど、北東から南西に至る）、周りの道路と斜めに交差している部分もあります。このあたりは、昔の地図を見ても、昭和7年、この頃すでに北に平行する（旧街道の）五日市街道は確認できますが、井の頭通りは点線、その郊外には町村営や民間企業によって水道が整備されていました。当時、郊外の市街化は現在ほどに進んでいませんでした。技術的にも合理的ということで、水道管はまっすぐに敷設されたということでしょう。その後、市街化が進む中でこれらの水道管は道路として供用されるようになります。井の頭通りもその例で、大正13年に浄水場（武蔵野市）から和田堀給水所（世田谷区松



バス停にその名残り